

令和7年(2025年)12月23日

報道関係者 各位

宝塚の市民劇団 朗読劇で平和を訴える

3/15(日) 劇団 BIGMOUSE 実験劇場 朗読劇「戦争マラリアの悲劇」

(公財)宝塚市文化財団(兵庫県宝塚市)では、“戦争マラリア”を題材とした朗読劇「戦争マラリアの悲劇」を上演します。

“戦争マラリア”とは、第二次世界大戦時の沖縄県で、有病地に強制疎開させられた一般住民らが罹患したマラリアのことです。今回の朗読劇の舞台となる波照間島では、疎開人口の36%もの人がマラリアで命を落としました。銃撃戦や爆撃よりも高い比率で亡くなったのです。戦後80年が過ぎた今、朗読劇を通じて戦争がもたらす悲劇を伝え、平和の大切さを訴えたいと考えています。



写真: 昨年の実験劇場

出演は、宝塚市内で活動する市民劇団、「劇団 BIGMOUSE (ビッグマウス)」の劇団員。10代から80代までの劇団員13名が様々な役を演じ分けながら上演します。つきましては、本公演ならびに劇団稽古(日曜日午後)についてご取材のほどよろしくお願いします。

- 公演名 劇団 BIGMOUSE 実験劇場 朗読劇「戦争マラリアの悲劇」
- 開催日時 令和8年3月15日(日) 13時30分開演(13時開場)
- 会場 宝塚文化創造館 講堂ホール
(宝塚市武庫川町6番12号)
- 入場料 無料(予約不要)、未就学児入場可
- 上演内容 朗読劇「戦争マラリアの悲劇」
文:宮良 作、絵:宮良 瑛子「忘れな石 ―沖縄・戦争マラリア碑―」
(2001年、株式会社日本図書センター)より
脚本・演出 高波 匠志(劇団 BIGMOUSE 演出家)
出演 劇団 BIGMOUSE 劇団員
- お問い合わせ (公財)宝塚市文化財団 (劇団 BIGMOUSE 担当:浅井、吉田 水・日・祝 休み)
665-0845 兵庫県宝塚市栄町2-1-1 ソリオ 1-3F
Tel:0797-85-8844 Fax:0797-85-8873 E-mail:bigmouse@takarazuka-c.jp

「戦争マラリア」について

「戦争マラリア」とは、第二次世界大戦時の沖縄県で、軍命により有病地に強制疎開させられた一般住民や、駐留した日本軍の軍人などが罹患したマラリアである。

八重山諸島の一部地域で住民の疎開が行われ、かつマラリアの発生する地域に移住させられたために多くの人がマラリアに罹患し、多数の死者を出した。マラリアは戦争中の物資や人間の移動、栄養状況の悪化から県内の他地域にも広がり、沖縄県各地で被害者を出したが、八重山では直接の戦争被害よりマラリアの被害が突出している。

八重山諸島・^{はてるまじま}波照間島では、1945年3月に^{いりおもてじま}西表島・^{はいみだ}南風見田への疎開を開始。疎開先はマラリアの有病地であり、薬や医療設備も無かったため、多くの死者を出した。疎開者1,275名中461名、36%もの島民がマラリアで亡くなった。疎開者のうち学童は323名、その全員がマラリアに罹患、66名が命を落とした。

島民は8月7日から波照間島への帰島を開始したものの、疎開前に島内のすべての家畜を屠殺するよう命じられていたため食料難に苦しむこととなった。栄養不足や疲労、マラリア罹患により、帰島後も多くの方が亡くなった。

劇団 BIGMOUSE について

1996年宝塚市内の中学生18名で結成。2009年より社会人がメンバーに加わり、自己表現、人づくり、世代間交流を目指す市民劇団として活動している。現在、10代から80代まで13名の劇団員が所属。運営は公益財団法人宝塚市文化財団、指導は宝塚市在住演出家・高波匠志。年1回の宝塚ソリオホールでの定期公演のほか、市内福祉施設への訪問活動なども行っており、2024年には「宝塚市制70周年まちづくり功労賞」を受賞、2026年には劇団創立30周年を迎える。

※今後の稽古日程

1月11日(日)、25日(日)

2月 8日(日)、22日(日)

3月 1日(日)

時間 14:00～17:00

場所 ソリオ305レッスンルーム(宝塚市栄町2丁目1番1号 ソリオ1の3階)